

Panasonic
i-PRO ネットワークカメラ WV-S4550L/S4150
V4.80 版 リリースノート

目次

[変更履歴](#)
[ダウンロードファイルについて](#)

変更履歴

(項目末尾に「*」が付いている内容は、別途[追加情報チラシ](#)に説明があります)

Ver V4.80ES

<機能追加>

- SD メモリーカード使用時の異常検知時の対応として以下を追加*
 - ・使用制限値となるビットレートを録画ストリームに設定した場合、アラート表示する。
 - ・録画画像欠損時、SD メモリーカードの応答異常時、ステータスの SD カードログにログ出力
 - ・SD カードの応答異常時、独自アラーム通知(診断)を送信。

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 解像度変更、撮像モード変更を繰り返し実施すると、稀に黒画になることがある現象の改善

Ver V4.70ES

<機能追加>

- 生産工場でプリインストールされる電子証明書を「DigiCert 社」から「Global Sign 社」へ変更。本バージョンアップのみでは変更されません。セキュア通信を実施されている場合の影響などの詳細については、[こちら](#)を参照ください。
- HTTP アラーム通知機能の以下の内容の改善
 - ・Digest 認証対応
ID/PW 無しで初回アクセスし、サーバーからの応答を元に Digest/Basic のいずれかで認証する。
 - ・サーバーとのユーザー認証失敗時のシステムログ追加
認証エラー時、「<HTTP アラーム通知> 認証エラー」のシステムログを表示する。
 - ・HTTPS での送信機能
通知先に、“https://”を設定した場合、HTTPS のサーバーと判断し HTTPS でのアクセスを実施する

<改善項目>

- 通信方式を HTTP から HTTPS に変更する際、ビットレート値が 4Mbps 以上に設定されていた場合、配信性能を加味して自動的に 4Mbps を上限としていた動作を、元の設定値に従って動作するよう変更し、運用環境に応じた設定ができるよう改善
- ArgosView(パナソニック ネットソリューションズ(株)製)動画配信時に RTP のタイムスタンプが1日あたり約 10 秒程度遅延する現象の改善

Ver V4.30ES

(V4.00 より古いバージョンからのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<機能追加>

- SNMP に関する設定に「SNMP トラップ設定」を追加*

- SNMP v1/v2 のアクセス制限機能を強化*

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- ライブ画表示の際に、稀に画像が黒くなってしまうことがある現象の改善
- SNMP で応答する日付の応答文字列が正しく送信できていなかったため、送信形式を「DateAndTime」型に修正
- Internet Explorer 以外のブラウザに「SD 再生」を対応（詳細は[こちら](#)）
- サポート URL 変更の為、URL の変更及び QR コード、Data_Matrix.コード画面を変更
- ライブ画のマルチキャスト表示で、「マルチキャストポート番号使用中」の不要なアラートが表示される現象の改善
- スケジュールの「画像公開許可」時間外で手動録画できなくなる現象の改善
- CA 証明書をインストールした際、インストール画面が小ウィンドウとタブで 2 つ立ち上がる現象の改善
- 携帯端末用の「/cam」画面において、未公開時間から公開許可時間になった際に、画面リロード後、「/cam」画面にならずに通常のライブ画表示になる現象の改善
- Windows10 における、HTTPS 接続における再接続時の応答改善
- Windows10 のファイヤーウォール設定で UDP をブロックしていることにより、ブラウザのライブ画面で動画を表示すると黒画になる現象があるため、「インターネットモード」の初期設定を「OFF」→「ON」に、「プラグインソフトウェア」の「ライブ画スムーズ表示」の初期設定を「ON」→「OFF」に変更する*
- RTPoverRTSP で動画 (H.265) 配信時、配信先のネットワークディスクレコーダーなどの LAN ケーブル抜け（または電源 Off）などにより、ネットワーク接続が切れた場合、稀に意図せぬ高負荷状態になり、画面の切替が遅くなったり、画像更新が遅くなることのある現象の改善
- 稀に SD カードがライトプロテクトされていないにもかかわらず、ライトプロテクトされていると誤判定され、録画できなくなることがある現象の改善
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) 内に記載されている旧社名を新社名に変更

Ver V4.23ES

（本バージョンへのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#)）

<改善項目>

- 機能拡張「i-VMD 検知」「顔検出」を IE 以外のブラウザに対応（ライブ画、設定画面）（詳細は[こちら](#)）
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) 内に記載されている旧社名を新社名に変更

Ver V4.22ES

（本バージョンへのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#)）

<改善項目>

- V4.20 へのバージョンアップ後に CPU 負荷が増加することがある現象の改善

Ver V4.20ES

（本バージョンへのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#)）

<改善項目>

- FTP/SNMP 認証時に一定の条件以上の認証に失敗した場合にシステムログに「認証エラー」のログを記載
- IP 簡単設定ソフトウェア (Ver4.31R00) に対応し、機器の製造番号を表示
- SNMP の MIB 情報を強化（開発用資料の[ダウンロードページ](#)より入手ください）
- IE の互換表示設定時、動作検知画面の VMD のスライダーが動かない現象の改善
- 稀にメモリアクセス異常で再起動することがある現象の改善

Ver V4.10ES

（本バージョンへのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#)）

<改善項目>

- 2つのセッションを同時に接続した際に、片方の認証が通らずに、音声聞こえなくなる現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- DDNS 設定画面の「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携なし)」「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携)」の際に注記文言を画面内に記載
- 画面内文字を2階調からグレースケールに変更し滑らかな文字表示に改善
- 機能拡張ソフトの「i-VMD」使用時に、付加情報に妨害検知情報を追加
- バージョンアップ画面にオープンソースソフトウェア(OSS)のライセンスを表示
- SDメモリーカードの上書き録画中に最も古いログリストを開き、参照するとファイルが見つからない現象の改善
- ストリーム1のみ暗号化を行い、音声配信をAAC-LC、録音同時録画を行い、ライブ画→設定画面→ライブ画の画面切り替えを行うと再起動する現象の改善
- 配信方式を「ユニキャスト(オート)」から「ユニキャスト(マニュアル)」に変更した際に、セッション登録が残り、映像が出なくなることがある現象の改善
- 機能拡張ソフトの人数カウント使用時に設定変更を繰り返すと動作が停止してしまうことがある現象の改善
- Internet Explorer 以外のブラウザに一部対応(詳細は[こちら](#))(2019/7/10 記載漏れのため追記)

Ver V4.00ES

<改善項目>

- 日付・時刻の画面内文字の見やすさを改善*
- H.265/H.264の動画をSDカードへ録画中に電源Off/Onが発生すると、当該時間の映像再生時に黒画になることがある現象の改善
- マルチスクリーン全画面表示の際のJPEGの静止画更新時の解像感の改善
- FTP定期送信エラー時の保存先が変更できないことがある現象の改善
- SMTPサーバーの設定内容がカメラ再起動後に設定前に戻ってしまうことがある現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- サポートページURLの変更(http→https)に伴うリンク先変更
- メインとサブの2つのモニター画面を使用している際に、サブモニターにIEを配置した状態で全画面表示ボタンを押下すると、メインモニターに全画面表示される現象の改善
- 画像の解像感の改善
- スケジュール設定画面に以下の注意文を記載。
『「動作検知許可」は検知させたい期間を指定する際に必要です。常時検知させる場合は設定不要です。』
- ログリスト画面のログ削除ボタンをクリックした際のアラート表示を以下の内容に改善。
「検索結果のログと画像を、ログ表示されていないページを含めて削除します。(要因および期間で選択された全てのデータが消去されます。)」
- 録画データをログリストからダウンロードする際に、当該時刻の1つ前のログの録画データがダウンロードされることがある現象の改善
- マルチスクリーン画面使用時に、1台のカメラがネットワーク切断されると、他のカメラに対しても同様のアラート画面が表示される現象の改善
- SDカードへのJPEG上書き録画中に削除不可能なファイルができた際に、カメラ再起動してしまうことがある現象の改善
- 電源OFFからONにした際に、まれにRTC通信が正常にできないことがある現象の改善
- ログリスト画面でのSDカードデータ削除時、再生画面を表示中に削除できないデータが残ることがある現象の改善
- 4ストリームモードでマルチキャスト配信時、配信順によってch4のH.264配信が正常にできないことがある現象の改善
- 局所的混雑時の人数カウント精度を高めるため、差分モードの切替機能を追加(自動的に切り替え)
- overRTSP接続でネットワークが切断された後、2分以内に配信方式(H.265/H.265)の設定変更、解像度の変更を実施すると、変更完了前のストリームが配信されてしまうことがある現象の改善
- タブレット用画面の「SDREC」ボタンの視認性を改善
- セキュリティ強化に伴い、設定データの暗号化方式を変更*
※Ver4.00以降でバックアップした設定データを、Ver4.00より前のバージョンで動作するカメラにリストアすることはできません。

Ver V1.23ES

<改善項目>

- 「ネットワーク」設定の「HTTPの最大セグメントサイズ」の設定で以下の機能を連動するように改善
 - ・HTTPアラーム
 - ・みえますねっと(アクセステスト)
 - ・みえますねっと(通知)
- 60fps+複数ストリーム配信などの高負荷状態で、カメラが稀に再起動することがある現象の改善
- レコーダー接続時にAAC-LC音声を配信している際に、モニターに表示しているライブ映像が停止することがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーNXシリーズとの接続時、稀に通信エラーが発生する現象の改善

Ver V1.22ES

<改善項目>

- Ver1.11 または、それ以前のバージョンから、Ver1.20 以降にバージョンアップした際に、マルチキャスト運用に関する設定が初期値に戻ることがある現象の改善

Ver V1.21ES

<改善項目>

- ネットワークディスクレコーダーでシーケンス運用時、映像を出力するまでに時間がかかり、黒画になってしまうことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーとの接続中、SD メモリーバックアップ録画を行っているときに、電源が OFF/ON されると、SD メモリーバックアップ録画が停止しなくなる現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーもしくは映像監視ソフトウェア(WV-ASM300 など)をシーケンス動作させた場合にカメラが再起動することがある現象の改善 (2018/9/7 記載内容一部変更)
- ネットワークディスクレコーダーで SD メモリーバックアップされたデータをダウンロードすると、カメラが再起動することがある現象の改善
- 通信状態が不安定な環境で、カメラ再起動時に録画が再開されないことがある現象の改善
- 通信状態が不安定な環境で、通信の復旧時に録画が停止しないことがある現象の改善
- 映像配信(H.265/H.264/JPEG)を1年以上連続運用していた場合に、フレームレートが低下する可能性がある現象の改善 (2018/8/9 記載内容一部変更)
- マルチスクリーン表示でマウスでドラッグしてズームする操作ができないことがある現象の改善
- AC 電源での動作において、UDP での映像配信中にカメラ側の LAN ケーブルを抜くと、カメラが再起動することがある現象の改善
- カメラのストリーム 2 の動作検知設定でアラーム検知してもレコーダー側で検知できないことがある現象の改善
- 「4ストリーム」での撮像モード時に、レコーダーから動作検知エリアを設定すると、ストリーム2~4の動作検知が検知できないことがある現象の改善
- 映像監視ソフトウェア WV-ASM300 との接続において、SD メモリーカードへの手動録画を開始しても、ASM300 の手動録画のランプが点灯しないことがある現象の改善

Ver V1.20ES

<機能追加>

- [システムログ]に[<<最新の 100 件]、[ページ数表示]を追加

<改善項目>

- 工場出荷状態の初期のパスワード認証方式を「Digest or Basic」から「Digest」に変更
- 工場出荷状態の初期のパスワードの使用文字種を「英字/数字/記号」のうち 2 種以上を選択する仕様から「英字大文字/英字小文字/数字/記号」のうち 3 種以上を選択する仕様に変更 (変更に関するお知らせは[こちら](#))
- ホスト認証にユーザー認証機能を追加
- システムログにログイン失敗した履歴を表示
- 認証方式 IEEE802.1x の EAP 方式に「EAP-TLS」を追加
- 独自アラーム通知のアラーム種別に以下を追加
 - ・SD カード Write エラー
 - ・SD カード Read エラー
 - ・SD カード ファイル削除エラー
 - ・SD カード ファイルシステムエラー
 - ・SD カード その他エラー
- SD メモリーカードのパスワードロック機能を追加
- 配信量制御(ビットレート)の初期値を以下に変更
変更前: 制限なし
変更後: 51200kbps
- シェーピング初期値を on から off に変更
- 接続されたスイッチングハブが「ECO モード」で動作している場合、ECO モードを OFF にする通知を行い、通信安定性を向上する改善(2018 年 6 月 記載漏れのため追記)

Ver V1.11ES

<改善項目>

- ライブ画で MJPEG 画像が「Google Chrome V64 Windows 版」で表示できない現象の改善
- 管理者パスワードが削除されることがある現象の改善
- 「インテリジェントオート」機能を「On」で使用時に、被写体に動きがある際のノイズを低減し画質改善を実施
- 複数ストリーム配信時、「受話音声圧縮方式」で「AAC-LC」を選択した場合、「オート VIQS」使用時など高負荷状態で使用している際に、再起動することがある現象の改善

Ver V1.10ES

<機能追加>

- 機能拡張ソフトウェア (WV-SAE303W)「KazooL」に対応

Ver V1.01ES

- 初版

ダウンロードファイルについて

s4150_***ES.zip は WV-S4550L/S4150 のファームウェアです。
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍(拡張子「img」)にしてバージョンアップにご利用ください。

※バージョンアップの手順は、各機種取扱説明書を、ご参照ください。